

■ 開設年度		■ 開講部局	
2016		共通教育	
■ 科目名		■ ナンバリングコード	
稲盛和夫の経営哲学			
■ 英語科目名			
Management philosophy of Kazuo Inamori			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
後期	毎週	講義	2
■ (28年度以降入学生) 中分類		■ (28年度以降入学生) 小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
■ (25年度以降入学生) 中分類		■ (25年度以降入学生) 小分類	
b. 知力: 人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
■ (24年度以前入学生) 大区分		■ (24年度以前入学生) 中区分	
教養科目		人間教育科目	
■ 受講学部学科			
全学部全学科			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099 - 285 - 3753		k5621643@kadai.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
随時可 (但し、事前にメールか電話で連絡をください)			
■ 共同担当教員		■ AL (アクティブ・ラーニング)	
■ 理念 重要視する教育目標			
■ 理念 教育目標			
■ 理念 教育目標			
■ 理念 教育目標			
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
経営のベースとなる経営哲学について、現代日本の代表的経営者であり、本学の卒業生である稲盛和夫氏の思想をもとに学習する。経営哲学の意義と、そのあるべき内容を理解することは、経営の基本を学ぶことであるとともに、あらゆる組織運営に通じる普遍的な実学となると考えられ、本講義では稲盛氏の経営哲学を学ぶことを通じて、組織運営になぜ、哲学が必要かを考えて行く。			
■ 学習目標			
1. なぜ、経営哲学が必要なのかを理解する。 2. 経営哲学とは、どのようなものでなければならないのかを理解する。 3. 経営者は、いかにあるべきかを理解する。 4. 経営哲学を、組織内で共有するためにどうすればいいのかを理解する。 5. 経営哲学がいかなる可能性を開くかを理解する。			
■ 授業計画・試験の有無 (16回 [初修語は31回] に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1. 「京セラフィロソフィ」はどのようにして生まれたか 2. 心を高める 3. より良い仕事をする - 1 4. より良い仕事をする - 2 5. 正しい判断をする 6. 新しいことを成し遂げる 7. 困難に打ち勝つ 8. 人生を考える - 1 9. 人生を考える - 2			

- 10. 経営のこころ - 1
- 11. 経営のこころ - 2
- 12. 京セラでは一人一人が経営者 - 1
- 13. 京セラでは一人一人が経営者 - 2
- 14. 日々の仕事を進めるにあたって - 1
- 15. 日々の仕事を進めるにあたって - 2

■ 授業外学習(予習・復習)

資料をもう一度読むなど、復習を中心にやって欲しい。

■ 受講要件	■ 成績の評価基準
経営哲学及び稲盛氏の経営思想に関心をもっていることが望ましい。	毎回のフィードバックシートの提出（50％）、期末レポート（50％）。レポート提出の要件は3分の2以上の出席。
■ 教科書	■ 参考書
書名：『京セラフィロソフィ』 著者等：稲盛和夫 出版社：サンマーク出版 出版年：2014年 ISBN：10 - 4763133713 教科書は、高価な本なので購入は必要ありません。講義の時間に資料を配布します。	なし
■ 地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）	■ 地域志向科目の区分（平成28年度以降入学生用）

■ その他

真面目に全ての回を受講する覚悟のある方。そうでない人は受講登録を遠慮願います。